【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【公開番号】特開2008-206912(P2008-206912A)
【公開日】平成20年9月11日(2008.9.11)
【年通号数】公開・登録公報2008-036
【出願番号】特願2007-48790(P2007-48790)
【国際特許分類】
Ａ４７Ｌ　13/258　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４７Ｌ　13/258

【手続補正書】
【提出日】平成22年1月6日(2010.1.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
平面視略長方形を有したモップ材支持板を備えており、このモップ材支持板は、その長手方向寸法の半分以上を占める主部に対して、長手方向の残部からなる副部が折り曲げ可能に連結されており、このモップ材支持板の長手方向両端部がモップ材の基布上面の両端に設けられたポケットに挿入されてモップ材が支持されるモップヘッドであって、
上記モップ材支持板の長手方向両端部における幅方向両側縁には、上記ポケットの内部においてこのポケットを幅方向に突っ張るフランジ部が一体形成されていることを特徴とする、モップヘッド。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明によって提供されるモップヘッドは、平面視略長方形を有したモップ材支持板を備えており、このモップ材支持板は、その長手方向寸法の半分以上を占める主部に対して、長手方向の残部からなる副部が折り曲げ可能に連結されており、このモップ材支持板の長手方向両端部がモップ材の基布上面の両端に設けられたポケットに挿入されてモップ材が支持されるモップヘッドであって、上記モップ材支持板の長手方向両端部における幅方向両側縁には、上記ポケットの内部においてこのポケットを幅方向に突っ張るフランジ部が一体形成されていることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
図３には、モップ材支持板１０の副部１０ｂを主部１０ａに対して下方に回動させた状態を仮想線で示している。係止部材１３は、モップ材支持板１０の長手方向に沿う一方の端部に爪部１３ａを備えている。この爪部１３ａは、主部１０ａの端部上面に引っかかる

ように形成されており、副部１０ｂが回動するのを防いでいる。この係止部材１３の他方の端部に一定以上の力を加えると、爪部１３ａが主部１０ａから一時的に離間し、係止部材１３を規制部材１５周りに所定角度回動させることが可能となる。したがって、係止部材１３を操作することによって、主部１０ａと副部１０ｂとを固定状態から支軸１４周りに回動可能状態へと切り替えたり、逆に、回動可能状態から固定状態へ切り替えたりすることができる。